

外来種対策の取り組みについて

1 外来種の対策における本課の対応

(1) 普及啓発

Web ページ「STOP! あいちの外来種」で、県内に移入・定着している外来種に関する情報を集約した「愛知県移入種対策ハンドブック」(平成24年)を公表するとともに、外来種の発見情報の提供を呼びかけている。

また、Web ページで、外来生物法に基づく特定外来生物(148種、うち32種が県内で確認)及び自然環境保全条例に基づき公表している種(27種)の規制内容等について説明し、県民への情報提供、注意喚起を図っている。

(2) 地域の防除活動の促進

- 支援が必要な市町村に対して専門家を派遣し、防除に係る技術的支援を行う。
 平成30年度：5回(アルゼンチンアリ等の外来アリ)
 平成29年度：3回(アルゼンチンアリ(2回)、アライグマ(1回))
 平成28年度：3回(アルゼンチンアリ(2回)、アカミミガメ(1回))
 平成27年度：3回(アルゼンチンアリ)(当年度より開始)
- 市町村等による防除活動を促進するため、外来種対策研修会を開催する(毎年2回)。
 〈内容〉 平成30年度：侵略的外来アリ、都市域における外来生物
 平成29年度：ヒアリ、アカミミガメ
 平成28年度：外来魚類、オオキンケイギク
 平成27年度：アカミミガメ、オオキンケイギク

(3) 新たに発見された外来種の対策


平成30年12月に、碧南市内の堀川において、*Spartina anglica*(スパルティナ・アングリカ)が国内で初めて生育確認されたため、根絶に向けた効果的な駆除方法の検討することを目的として、国、県、市を構成員とした連絡会議を設置した。また、平成31年4月22、23日に人力による駆除を行った。

(4) 広域的な連携の確立

初期侵入や地域で問題となっている外来種において、関連自治体による外来種対策に係る連絡会議を実施する。(今年度は、クビアカツヤカミキリ、アルゼンチンアリ、ブラウジングアント、*Spartina anglica*(スパルティナ・アングリカ)について開催)

2 県内の主な外来種

(1) ヒアリ(特定外来生物)

特 徴	体長 2.5mm~6mm で、体色は赤褐色。南米原産。 毒を有し、針に刺されると火傷のような激しい痛みを襲われる。体質によってはアナフィラキシーショックを引き起こす場合がある。その他、在来種の駆逐が想定される。	 (環境省ホームページより)
全国の確認状況	平成29年6月に国内で初めて兵庫県尼崎市にて確認されて以降、現在までに14都府県、42事例(今年度4事例)が確認されている。	

ア 本県のヒアリの確認状況(平成29年度~)

1 平成30年度

番号	確認地点	確認日	確認状況	発見数	積出港
1	飛島村 (名古屋港)	7月5日	コンテナ内等	約20個体	あもい 廈門港 (中国)
2	瀬戸市	7月20日	コンテナ内	約350個体 (女王アリ、さなぎを含む)	黄埔港 (中国)
3	小牧市	8月22日	コンテナ内	約20個体	南沙港 (中国)
	弥富市 (名古屋港)	8月23日	コンテナ内等	約50個体	
4	愛西市	(H31) 2月18日	倉庫	約30個体	フォス=シュル =メール港 (フランス)
	飛島村 (名古屋港)	2月19日	コンテナ内等	2個体	

2 平成29年度

番号	確認地点	確認日	確認状況	発見数	積出港
1	弥富市 (名古屋港)	6月30日	コンテナ外部	7個体	南沙港 (中国)
2	春日井市	7月10日	倉庫内	6個体	南沙港 (中国)
	飛島村 (名古屋港)	7月12日	コンテナ内	11個体	
3	弥富市 (名古屋港)	8月4日	コンテナ内	約100個体	あもい 廈門港 (中国)

4	名古屋市港区 (名古屋港)	9月1日	コンテナ内	約1,000個体 (女王1個体)	天津港 (中国)
5	弥富市 (名古屋港)	10月3日	コンテナターミナル	2個体	不明
6	弥富市 (名古屋港)	11月7日	コンテナ内	7個体	中山港 (中国)

イ 本県のヒアリに係る対応（平成29年度～）

（ア）国と連携した調査・防除の実施

- ヒアリ確認地点の周辺2km程度の調査（名古屋市、春日井市、弥富市、飛島村）
- ヒアリ分布地域からの定期航路を有する港湾での調査・防除（名古屋港、三河港）

（イ）ホームページによる県民への注意喚起（平成29年6月30日～）


県内でのヒアリ確認状況、ヒアリの特徴や刺された時の対応、ヒアリと疑われるアリを見つけた場合の問合せ窓口の設置

- （ウ）ヒアリに係る問合せ件数 平成29年度：343件
平成30年度：69件
平成31年度：11件（R1.7.12現在）


（エ）関係団体等への注意喚起（平成29年7月～）

市町村、荷主・運送事業者、県医師会、学校等


（3）クビアカツヤカミキリ（特定外来生物）

特徴	<p>体長は22-38mmで、体全体は光沢のある黒色をしている。中国、モンゴル、朝鮮半島、台湾、ベトナムに分布。</p> <p>幼虫がバラ科の生木（サクラ、ウメ、モモ等）に食入・加害することで樹木を衰弱させる。</p>	 <p>成虫（植物防疫所原図）</p>
全国の発生地域	7都県（埼玉県、群馬県、東京都、愛知県、大阪府、徳島県、栃木県）	
本県の発生地域	海部地域（平成24年に確認）、名古屋市（令和元年6月に確認）	
防除状況	宿主となった樹木を伐採することが一番効果的である。その他、侵入の確認された樹木への農薬注入や成虫脱出防止のためのネット巻き付けも対策として挙げられる。	


（4）カミツキガメ（特定外来生物）

特徴	<p>亜種に分けられているが、北米産の亜種では背甲長約50cm、34kgまで成長する。きわめて長寿で、繁殖能力が高い。</p> <p>水生傾向が強く、生涯水辺に生息する。緩やかな流れや止水中の水生植物、岩、沈水木などが多い場所を特に好む。</p>	 <p>（環境省 Web ページより）</p>
全国の発生地域	千葉県印旛沼付近および静岡県に定着。本県を含めた全国での確認がある。	
本県の発生地域	瀬戸市 等	
防除状況	もんどりワナを設置して捕獲する。	


（2）アルゼンチンアリ（特定外来生物）

特徴	<p>体長2.5mm程度で、褐色を有している。南米原産。</p> <p>競争力が強く、本種が侵入すると在来のアリ類はほぼ全滅状態へと追いやられる。また、屋内にも侵入して不快害虫（安眠妨害等）となる。</p>	 <p>（県 Web ページより）</p>
全国の発生地域	12都府県（東京都、神奈川県、静岡県、愛知県、岐阜県、京都府、大阪府、兵庫県、岡山県、広島県、山口県、徳島県）	
本県の発生地域	田原市、豊橋市、東海市	
防除状況	殺虫剤（ベイト剤（毒餌）、液剤散布）により駆除を行う。県内の各自治体では、駆除活動を実施しており、生息域の拡大を防いでいる状況である。	

(5) ブラウジングアント

<p>特 徴</p>	<p>南ヨーロッパ原産の種で、オーストラリア、グアム島等で確認されている。 多女王制でスーパーコロニーを形成し、著しく高い増殖率を持つ。 在来の生態系に大きな影響を与える可能性は高く、高い侵略性を持つが、ヒアリのような毒針はない。</p>	 <p>(小川尚文氏撮影)</p>
<p>全国の発生地域</p>	<p>愛知県のみ（平成 29 年 7 月確認）</p>	
<p>本県の発生地域</p>	<p>飛島村（飛島ふ頭）、弥富市（鍋田ふ頭）</p>	
<p>防除状況</p>	<p>アルゼンチンアリに準じて、殺虫剤（ベイト剤（毒餌）、液剤散布）により駆除を行う。 上記対応により、県内では発生地域からの生息域の拡大は防いでいる。</p>	

(6) *Spartina anglica* (スパルティナ・アングリカ) (和名：コヒガタアシ)

<p>特 徴</p>	<p>ヨーロッパからアジア、オーストラリア、ニュージーランド、北米等で確認されている。 主に汽水域の干潟に侵入し、群落が広がると干潟を陸地化する。 干潟を利用する在来の生態系に大きな影響を与える可能性は高く、高い侵略性を持つが、毒性はなく、人への直接的被害はない。</p>	 <p>(瀧崎吉伸氏撮影)</p>
<p>全国の発生地域</p>	<p>愛知県のみ（平成 30 年 12 月確認）</p>	
<p>本県の発生地域</p>	<p>碧南市（堀川）</p>	
<p>防除状況</p>	<p>人力による掘り取りや重機による駆除を行う。</p>	